

令和8年度 グリーンスローモビリティ実証実験_大谷口地区第1回WS 議事要旨

■日時：令和8年7月2日（木）14時00分～

■場所：細野自治会館

■出欠：参加者16名（細野自治協力会11名、周辺自治会3名、関係者2名）

■次第

1. 開会挨拶
2. 事業趣旨について
3. 運行内容（案）について
 - 応募目的
 - ルート設定
 - ダイヤ設定方法
4. 停留所の設置について
5. 今後について
6. その他
7. 閉会挨拶

■配布資料

次第

資料1 事業趣旨について

資料2-1 運行内容（案）について

資料2-2 ダイヤの設定方法について

資料2-3 ルート案（①ルート図、②圏域・状況図、③ダイヤ案）

資料3 停留所について

資料4 今後について

■議事要旨

■議題

(1) 運行ルート・停留所について

- ・提示した運行ルート案（北側・南側ルート）を基本として、本日の意見を踏まえ、見直しを検討する。ただし、今回の実証実験で全ての意見は反映出来ないことは了解いただいた。

(2) 運行日・時間帯

- ・運行日は平日のみとし、土日祝日は運休とし、運行時間帯は9時～15時とする。
- ・ドライバー負担を考慮し、各便に休憩時間を設け、昼休憩は1時間とする方向で検討する。

(3) 利用時の取扱い

- ・乗車定員は5名のため、満員時は乗車できない場合がある。歩行が不自由な方には配慮する。
- ・荒天時（雷雨、警報時、台風等）は運休とする可能性がある。

(4) 今後の対応

- ・今後、地域サポーター向け説明会及び運転手講習会を開催する予定。
- ・実証実験に向け、運転手・地域サポーターの募集を継続する。
- ・今回の実証実験で把握した課題は、次年度以降の方向性検討に反映する。

■主な意見

- ・北側ルートが時計回りの場合、一部の人がサミットでの買い物利用が出来ない。
- ・運行ルート上であれば、バス停以外のところでも乗り降りできるように出来ないか。
- ・わかき病院前のバス停（太田窪五丁目）へ接続すれば、南浦和駅や浦和駅にも行くことができる。
- ・実証実験の結果を踏まえて、運行ルート等の改善・変更を行うことは可能か。
- ・他地域のように、乗車運賃を徴収し、民間事業者へ委託運行する方が導入しやすいのではないか。